



おぎはら耳鼻咽喉科の言語聴覚士(ST)が月1回発行する予定の『カस्ताネット通信』第2号です。開院から約2カ月、「発音が悪い」ことを相談するために受診された方が多かった印象があります。そこで7月号では、発音の誤り(構音障害)と発音の練習(構音訓練)について取り上げたいと思います。

構音障害と構音訓練

構音障害とは発音の誤りのことです。原因はいくつかありますが、今回はお子さんによくみられる「機能性構音障害」についてのお話しです。“おさかな”を“おちゃかな”、“きりん”を“ちりん”と誤っているお子さんがこれにあたります。

「発音が悪い」ことを主訴に受診したお子さんには「構音検査」という発音の検査を行います。絵カードを見てその名前を言ったり、50音を復唱してもらったりして、どの音がどのように誤っているかを調べます。発音には聞こえやことばの発達が関係している場合があるので、聴力検査やことばの発達のチェックを行うこともあります。

発音の練習が必要と判断されたら、正しい音を作っていくための「構音訓練」を行います。基本的にはクリニックで週1回40分程度練習をし、毎回宿題を出すので家庭で毎日5～10分程度練習をします。翌週宿題の確認をし、上手にできていれば次のステップに進むということの繰り返しです。



構音障害と構音訓練について重要なポイントを3つ

1. 日本語の中で、“さ行・つ”は正しく発音することが難しい音です。平均4～5歳で上手に言えるようになります。2～3歳でさ行が正しく言えなくても問題ありません。
2. お子さん本人は正しくお話をしているつもりなので、日常生活では音が誤っていても言い直しはさせません。何度も言い直しをさせると嫌な気持ちになります。
3. 構音訓練を始めたら、正しい発音の仕方を体に覚えこませるため、宿題にしっかり取り組んでください。

多くの場合は小学校入学前までに構音訓練が完了することを目指し、適切な時期に訓練を開始します。

院内モニター

言語聴覚士からのお知らせ



難聴

補聴器



〇×クイズ!

全部で30問あるよ



院内モニターではYoutubeを使って、情報提供を行っています。STは2つ作成しました。「言語聴覚士からのお知らせ」では、STが行う指導や検査について紹介しています。また「難聴・補聴器〇×クイズ」では30問のクイズに答えていくことで難聴や補聴器についての基礎知識を学べるようになっています。今後もスタッフおすすめ絵本等、様々なコンテンツを増やしていく予定です。お楽しみに！

おぎじびぶんこ



おぎはら耳鼻咽喉科、自慢の絵本ライブラリの名前が『おぎじびぶんこ』になりました。今年夏休み期間が短くなりそうですが、夏休みといえば読書感想文ですね。おぎじびぶんこにはおとなが読んで懐かしさを感じるロングセラーの児童書をご用意しています。診察までの時間に最後まで読むのは難しいかもしれませんが、一章完結の話も多いので、ぜひ手に取ってみてください。私も小学生の頃、読んだに違いない本を何冊か読み返しました。長くつ下のピッピの長くつ下

って名前だったんだ、エルマーって策士！、いやいやえんのしげるくみみたいな子どもいそう！、下校してから晩ご飯までの間にスプーンおばさんのアニメを見ていたなあ等、児童書の世界を通して新たな驚きと懐かしさに浸ることができました。

発酵のはなし

発酵食品が好きで、この時期(6月初旬)は毎年梅味噌を作っています。青梅と砂糖、味噌を琺瑯の容器に入れじっと待ちます。1週間後には砂糖が溶け、青梅エキスが出て下の写真のような状態になります。1日1回かき混ぜるのですが、梅と味噌の良い香りとポコポコ発酵している様子に癒されます。梅のエキスが出きって、スカスカになったら出来上がりです。野菜やお肉を漬けて楽しめます。

梅味噌は大学病院で働いていた頃、担当していたお子さんのおばあちゃんにお裾分けいただき、そのあまりの美味しさに作り方を習いそれから作るようになりました。暑い夏を乗り切る元気の源です。(井上理絵)



↑仕込み



↑1週間後

Zoomのはなし

いまZoomが話題になっています。米国の会社が運営するビデオ会議サービスです。テレワーク中の会議、大学の講義などに活用されています。趣味の会やコロナ禍で会えない孫との交流に使っているという話も聞きました。私も高齢の両親とZoomで毎晩やり取りし元気な様子を確認しています。ウィズコロナの時代には注目の仕組みになりそうです。



実はもう一つ、クリニックに大切なZoomがあります。それはSTの仕事に欠くことのできない録音用の機器です(写真)。開院に際して購入しました。小さいけれど高い機能をもつ録音機です。こちらのZoomは、日本の音響機器メーカー「ズーム」(東証ジャスダック上場)のロゴマークで、音楽の世界では評判の高い世界的メーカーなのだそうです。「同じ会社?」と思ったら全く違って、びっくりしました。

どちらのZoomもこれからが楽しみです。Zoomで遠隔訓練はできるかしら?とか、Zoomで録音した音声を臨床に活かす工夫とか、、、。必要に迫られてではありましたが、知らないこと、新しいことに挑戦してみるといろいろな発見があり世界が広がりますね。(鈴木恵子)

編集後記：無事7月号(2号目)も発行できました。8月号ではイベントの報告をしたいと思います。